



ももぐみだより (3歳児)

令和4年5月

時折夏を感じさせるような日差しの中、子ども達は園庭で身体を動かして元気いっぱい遊んでいます。最近、アリやダンゴムシ、綿毛などの草花を見つけては、保育者や友達と一緒に触ってみたり、観察したりする子ども達。身近な自然への興味や関心が強くなってきたように感じます。これからも進んで戸外に出て、いろいろな身近な自然と触れ合っていきたいと考えています。

ももぐみでの生活

ももぐみでの生活を始めて、2か月近く経ちました。4月初めの頃は、慣れない環境に戸惑いを見せていましたが、5月に入り、身の回りの始末を一生懸命「自分で」行おうとする姿がよく見られるようになりました。カバンの片づけをしたり、シール帳面のシールを貼ったりなど、1つずつ、いろいろなことができるようになってきました。これからも、一人一人のペースに合わせながら、頑張る姿を見守ったり、援助したりしていきます。

いちごがりごっこ



いらっしゃいませ～

クラスで「いちご」の絵本を読んだ際に、「いちごをつくりたい!」という子ども達。そこで、カラーポリ袋とプチプチの梱包材を使っていちごをつくり、いちご狩りごっこを始めました。

最初は保育者がいちごを洗濯ばさみにつけていましたが、次第に自分たちでいちごをつけて遊んだり、収穫したいちごをお店屋さんのように売って遊んだりする姿がみられるようになりました。

「次は大きいいちごをつくりたい!」という声があったので、次はみんなで大きないちごづくりに挑戦できたらと思います。



むずかしいな・・・

こいのぼり



おっきいこいのぼりや～

くるくるまわってる!
たのしい～!



ビー玉をコロコロ転がしたり、クレヨンと絵具をつかってはじき絵をしたり、思い思いのこいのぼりが完成しました。

完成したこいのぼりを手に持って、クラスの前の山を登ったり下りたり、楽しそうに走る子ども達。一方で、風車が思うように回らず、下を向いている子もいました。保育者が「なんでかなあ? こうやとどうかな?」と風車をいろんな方向に向けて走ってみると、「やってみる!」と目をキラキラさせて、いろんな方向に風車を向けて走り出しました。

これからも「できた」だけでなく、「できる」までの試行錯誤も楽しむことができるような援助をしていきたいと思っています。

おたまじゃくし

ももぐみにカエルの赤ちゃん「おたまじゃくし」がやってきました。子ども達は目をキラキラさせて、「赤ちゃん小さいね」「かわいいね」とおたまじゃくしを見ていました。

「何食べるのかな?」「何が好きなんやろ?」という声が聞かれたため、みんなで図鑑で調べることを約束しました。

身近にいる小さな生き物を大切に思うきっかけになればいいなと思い、クラスで大切に育てていきます。



水筒の準備、ありがとうございました。